

## 平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年5月15日

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト 上場取引所 大  
 コード番号 8798 U R L http://www.advancecreate.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 大原 勲 T E L 06-6204-1193  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 平成24年6月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,490	12.0	494	49.8	480	37.9	242	33.5
23年9月期第2四半期	3,964	21.7	984	208.1	773	414.6	364	165.4

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 326百万円 (14.7%) 23年9月期第2四半期 285百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	22.84	22.82
23年9月期第2四半期	33.51	33.22

(注)平成23年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	6,428	3,816	59.3
23年9月期	6,089	3,738	61.4

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 3,814百万円 23年9月期 3,736百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	-	1,500.00	-	1,500.00	3,000.00
24年9月期	-	15.00	-	-	-
24年9月期(予想)	-	-	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成23年10月1日付で1株を100株に分割しております。

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,250	0.4	1,130	8.7	1,110	11.3	670	0.6	62.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期2Q	10,999,100株	23年9月期	10,999,100株
期末自己株式数	24年9月期2Q	417,775株	23年9月期	334,400株
期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期2Q	10,607,528株	23年9月期2Q	10,876,400株

(注)平成23年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して期末発行済株式数及び期末自己株式数、23年9月期2Qの期中平均株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは完了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 平成23年9月30日現在の株主に対し平成23年10月1日付をもって、株式分割しております。なお、「3. 平成24年9月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮しております。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた取り組みや個人消費の緩やかな回復等に明るい兆しがみられたものの、欧州財政危機による世界経済の減速懸念や円高の長期化、電力不足、原油高等景気の下振れリスクも依然としてあり、先行き不透明な状況で推移しております。

保険業界におきましては、新規契約件数は、医療保険、がん保険等を主体に堅調に推移し、女性の加入割合（平成22年度50.4%）が男性を超える等増加を支えています。この要因としてインターネットを利用した保険の比較・申込が購買行動として一般化しており、購買環境の変化が増加を促したものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは、Webマーケティングに主軸を置いた事業展開により、保険の流通に変革を起こすパイオニア企業として成長してまいりました。お客様の保険比較ニーズに機敏に対応するべく、当社の基幹である保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」のサービスを充実させ、圧倒的な集客力を実現しております。特に、当第2四半期におきましては、スマートフォンによる生命保険の申込サービスの拡充やインターネット動画の配信等の取り組みにより、Webマーケティングの先端企業として機能面の充実と訴求力の向上を図っております。

さらに当社グループでは、インターネットを介して資料請求頂いたお客様に対して、ネットでの予約に加えコールセンターからも、来店型店舗「保険市場（ほけんいちば）」の保険相談サービスをご紹介するというスキームを構築することにより、「Web to Call to Real」の一気通貫型サービスを実現しております。来店型店舗では、徹底したお客様志向の保険相談サービスをご提供し、新規獲得契約の増加につなげております。

また、着実に増加しているお客様情報を活用するために他の保険代理店と協同して対応する「協業ビジネス」、あるいは、当社が保険代理店として獲得した保険契約の一部について、元受保険会社から当社の子会社が再保険を引き受ける「再保険ビジネス」等により、収益機会の拡大・多様化に努めております。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,490百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は494百万円（前年同期比49.8%減）、経常利益は480百万円（前年同期比37.9%減）、四半期純利益は242百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の営業収益は3,401百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は476百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

広告代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は112百万円（前年同期比35.8%減）、営業利益は18百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

再保険事業におきましては、当第2四半期連結累計期間における売上高は65百万円（前年同期比64.8%増）、営業損失は0百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は339百万円増加し6,428百万円、負債は261百万円増加の2,612百万円、純資産は77百万円増加の3,816百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加226百万円、受取手形及び売掛金の増加229百万円、投資有価証券の増加135百万円、一時差異解消による繰延税金資産の減少218百万円等によるものです。負債の増加の主な要因は、社債（1年内償還予定社債を含む）の増加910百万円、短期借入金の減少701百万円であります。また、純資産の増加の主な要因は、四半期純利益242百万円を計上したことによる増加及び配当金支払159百万円による減少であります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ226百万円増加し、643百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益459百万円(前年同期は297百万円)、減価償却費179百万円(前年同期は184百万円)、売上債権の増加 218百万円(前年同期は 496百万円)等により、営業活動の結果獲得した資金は440百万円(前年同期は554百万円の収入)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出58百万円(前年同期は167百万円の支出)、差入保証金の差入による支出67百万円(前年同期は13百万円の支出)等があり、101百万円の支出(前年同期は584百万円の支出)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の純減少による支出701百万円(前年同期は300百万円の収入)、配当金支払による支出159百万円(前年同期は163百万円の支出)、社債の発行による収入979百万円(前年同期-)等により、112百万円の支出(前年同期は263百万円の支出)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月11日付の「平成23年9月期決算短信」にて公表いたしました平成24年9月期の連結業績予想をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当社は、第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額 3,351円89銭

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 3,322円93銭

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(資産除去債務の計上)

当社グループは、本社及び店舗等における不動産賃貸借契約に基づき、契約終了時における原状回復義務を負っておりますが、前連結会計年度において当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、原状回復義務の履行時期を合理的に見積もることが困難であることから、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりませんでした。第1四半期連結会計期間において、店舗については当該債務に関する賃借資産の使用期間及び原状回復義務の履行時期を合理的に見積もることが可能となったため、第1四半期連結会計期間より資産除去債務を計上し、使用見込み期間(7年~10年)に渡って費用処理しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	420,089	646,517
受取手形及び売掛金	1,726,848	1,956,665
繰延税金資産	147,345	78,773
その他	242,898	243,391
流動資産合計	2,537,181	2,925,347
固定資産		
有形固定資産	500,963	520,611
無形固定資産		
のれん	120,328	106,959
広告実施権等	150,496	131,770
ソフトウェア	407,881	341,037
その他	113,854	99,551
無形固定資産合計	792,562	679,319
投資その他の資産		
投資有価証券	171,940	306,974
保険積立金	1,121,175	1,122,273
差入保証金	651,715	708,857
繰延税金資産	207,469	57,273
その他	94,619	80,333
投資その他の資産合計	2,246,920	2,275,712
固定資産合計	3,540,445	3,475,643
繰延資産	11,495	27,819
資産合計	6,089,122	6,428,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	701,000	-
未払法人税等	34,761	51,310
賞与引当金	119,810	121,544
代理店手数料戻入引当金	34,804	51,519
1年内償還予定の社債	180,000	380,000
その他	568,527	560,902
流動負債合計	1,638,903	1,165,276
固定負債		
社債	360,000	1,070,000
退職給付引当金	86,017	101,012
資産除去債務	-	51,177
その他	265,558	224,990
固定負債合計	711,575	1,447,180
負債合計	2,350,478	2,612,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	483,707	475,193
利益剰余金	544,751	627,111
自己株式	212,873	293,525
株主資本合計	3,730,900	3,724,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,682	90,199
その他の包括利益累計額合計	5,682	90,199
新株予約権	2,060	2,060
純資産合計	3,738,643	3,816,353
負債純資産合計	6,089,122	6,428,810



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	3,964,968	3,490,450
売上原価	988,718	893,368
売上総利益	2,976,250	2,597,082
販売費及び一般管理費	1,992,149	2,102,949
営業利益	984,100	494,132
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,748	1,084
その他	5,833	4,962
営業外収益合計	7,581	6,047
営業外費用		
支払利息	16,026	12,332
開発費償却	20,046	-
保険業法第113条繰延資産償却	142,368	-
その他	40,219	7,530
営業外費用合計	218,662	19,863
経常利益	773,019	480,316
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,274	-
投資有価証券売却益	-	1,309
特別利益合計	1,274	1,309
特別損失		
店舗閉鎖損失	29,878	6,857
事業整理損失引当金繰入額	443,455	-
災害による損失	1,958	-
投資有価証券売却損	-	8,779
その他	1,626	6,772
特別損失合計	476,919	22,409
税金等調整前四半期純利益	297,374	459,216
法人税、住民税及び事業税	13,764	44,073
法人税等調整額	-	172,812
法人税等合計	13,764	216,886
少数株主損益調整前四半期純利益	283,610	242,330
少数株主損失( )	80,954	-
四半期純利益	364,565	242,330

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	283,610	242,330
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,465	84,516
その他の包括利益合計	1,465	84,516
四半期包括利益	285,076	326,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,031	326,847
少数株主に係る四半期包括利益	80,954	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	297,374	459,216
減価償却費	184,262	179,499
保険業法第113条繰延資産償却額	142,368	-
繰延資産償却額	50,603	3,707
のれん償却額	15,777	13,369
代理店手数料戻入引当金の増減額(は減少)	15,817	16,714
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,274	-
賞与引当金の増減額(は減少)	3,150	1,733
退職給付引当金の増減額(は減少)	14,465	14,995
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	443,455	-
受取利息及び受取配当金	1,748	1,084
支払利息	16,026	12,332
売上債権の増減額(は増加)	496,107	218,978
その他	67,766	714
小計	616,405	482,221
利息及び配当金の受取額	4,941	1,747
利息の支払額	15,105	11,135
法人税等の支払額	30,279	27,911
店舗閉鎖による支出	19,242	4,902
その他の支出	1,958	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	554,760	440,018
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	150,011	0
定期預金の払戻による収入	150,010	-
有形固定資産の取得による支出	167,120	58,162
無形固定資産の取得による支出	83,821	4,537
差入保証金の差入による支出	13,487	67,805
差入保証金の回収による収入	26,715	19,465
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	356,864	-
その他	10,495	9,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	584,083	101,336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,085,000	1,385,000
短期借入金の返済による支出	785,000	2,086,000
長期借入金の返済による支出	46,200	-
社債の発行による収入	-	979,968
社債の償還による支出	240,000	90,000
自己株式の取得による支出	99,450	99,986
配当金の支払額	163,184	159,164
その他	14,234	41,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	263,070	112,149

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	463	105
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	292,856	226,427
現金及び現金同等物の期首残高	1,182,243	417,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	889,386	643,496

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,780,397	144,910	39,660	3,964,968	-	3,964,968	-	3,964,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	96,933	30,716	-	127,650	-	127,650	127,650	-
計	3,877,331	175,627	39,660	4,092,619	-	4,092,619	127,650	3,964,968
セグメント利益又は損失( )	972,371	18,922	4,538	986,755	-	986,755	2,655	984,100

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 2,655千円にはセグメント間取引消去 247千円及びのれんの償却額 2,407千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失( )は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「損害保険事業」、「再保険事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結会計期間より、「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つに変更しております。

この変更は、損害保険事業におけるアドリック損害保険株式会社が、関係当局の認可を前提として平成23年6月1日においてあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に吸収合併される見込みとなり、当社グループにおける重要性が低下したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,347,017	78,066	65,366	3,490,450	-	3,490,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	54,522	34,675	-	89,197	89,197	-
計	3,401,540	112,741	65,366	3,579,648	89,197	3,490,450
セグメント利益又は損失( )	476,018	18,573	760	493,832	300	494,132

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額300千円はセグメント間取引消去によるものです。

2.セグメント利益又は損失( )は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。